

寶生大夫勸進能卷

目次

五箇所御掲札幕

見物切手之圖

能場全圖

棧敷割之圖

櫓全圖

興行前日太鼓廻之圖

能場外構之圖

同入口札改所中售等之圖

御大名門東中售之圖

舞臺棧敷一覽之圖

御出役方御詰所之圖

舞臺階掛之圖

鏡之間之圖

博風懸魚鬼瓦金物等之圖

舞臺松竹畫縮圖

揚幕紐之圖

棧鋪疊場入込場羣集圖

松竹棧鋪入口之圖

棧鋪后之圖

坤隅之圖

總樂屋一覽之圖

出入之者鑑札法被之圖

場中售物之圖

打出之圖

日限中入場人數表

十五音間番組

室町一丁目

馬喰町四丁目

麩町一丁目

芝車町

芝口二丁目

右五箇所ノ本戸へ
掲クル

来申年二月於
筋違橋御門外明地
宝生大夫勸進能
有之之間望之ものハ
可致見物者也
未九月

公驗幕

雙鳳

和鳴



公驗幕

初日

疊

一

雙鳳

三日め

疊

三

統

五日め

疊

二

風傳

七日め

疊

一

五雲

九日め

疊

三

南山

十日め

疊

二

繁

二日め

疊

二

和鳴

四日め

疊

一

玉臺

六日め

疊

三

花季

八日め

疊

二

開

十日め

疊

二

壽席

十日め

疊

一

蘭芷

十日め

貴

繁

二

に

十一日め

貴

蘭芷

一

に

十三日め

貴

共酌

一

ほ

十四日め

貴

千秋

二

ほ

十五日め

貴

長命杯

三

ほ

入込れ毛印章之ニ同し疊ノ文字ヲ青肉ニテ入込上印といふは文字ニテ文字ナシ

七宝印紙ノウエスリニ枚合セテ透過リテ見ル

右裏

十人詰之内

壹人

此印紫雲ノ二字ナリ

四日め

貴

臺

一

ろ

十人詰之内

壹人

右ニ摹出セルハ町割出銀ニ應ニテ渡セシ切手ナリ
相對賣ノ切手左ノ如シ

棧敷切手圖 二階ヲ松ト号シ下ヲ竹ト云フ

三日目

松

貴

纒

東

丸

上棧鋪

下棧鋪

三日め

貴

燒

西

下棧鋪

三日め
竹



西
七



公驗價

松棧敷 間口是間 銀三枚
 田骨場 間口是間 十人詰銀六枚 銀六枚

竹棧敷

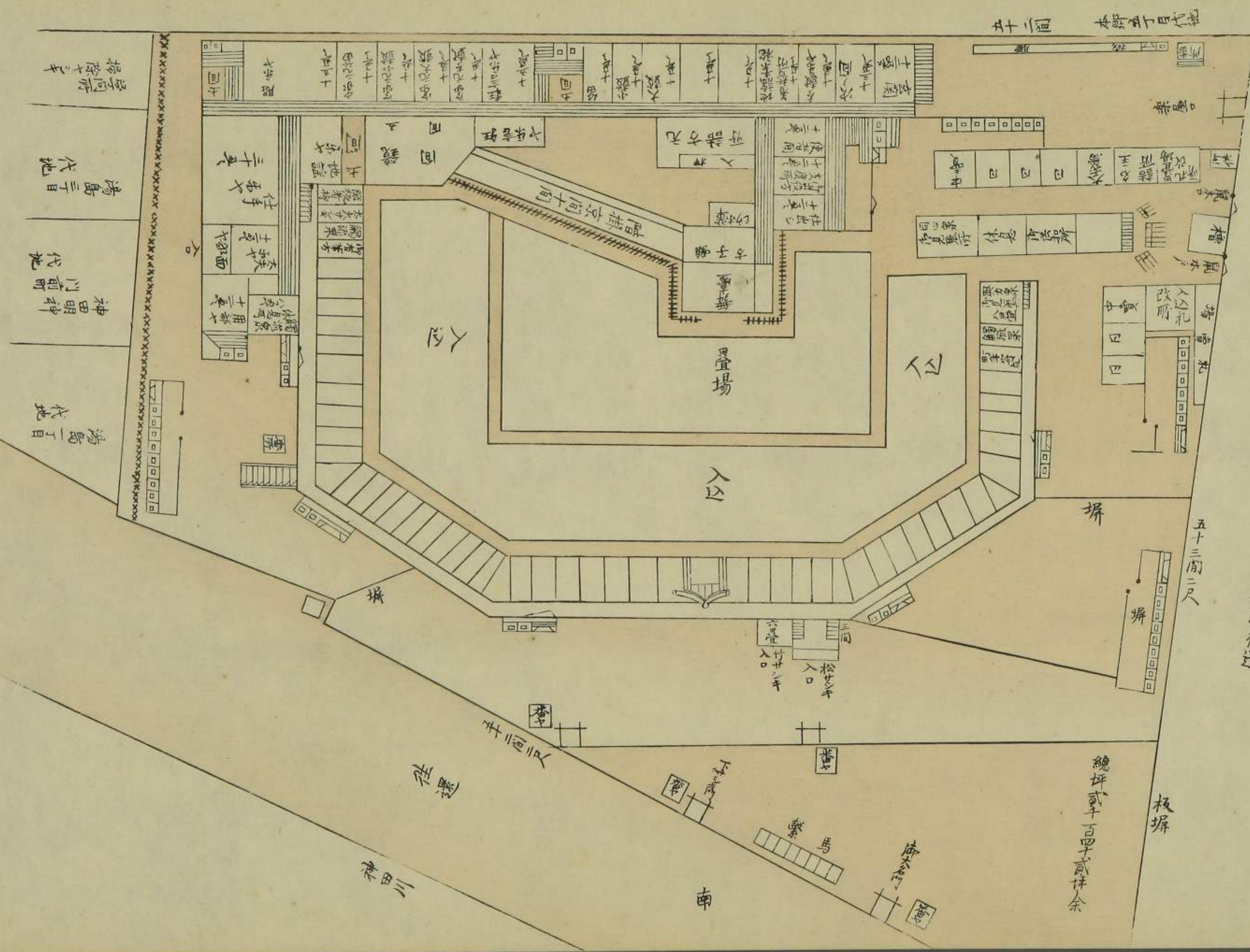
間口是間 銀三枚
 入込場 入銀三枚

筋違橋通往還

五十三間二尺

板塀

總坪貳千四百六拾肆余



湯島三丁目
代地

湯島三丁目
代地

湯島三丁目
代地

湯島三丁目
代地

寺間、通路三方二階下代地

東廿
東廿九
東十六
東十七
東十六
東十五
東十四

寺間、通路

代地

東十三
東十二
東十一
東十
東九
東八
東七

北

舞臺

二	三	二	レ	た	よ	る	ほ	に	は	ろ	い
三	二	二	レ	た	よ	る	二	二	二	二	二
四	三	三	二	二	よ	る	三	三	三	三	三
五	四	四	三	三	二	二	四	四	四	四	四
六	五	五	四	四	三	三	二	二	二	二	二
七	六	六	五	五	四	四	ぬ	り	ち	い	と
八	七	七	六	六	五	五	一	一	一	九	二
九	八	八	七	七	六	六	二	二	二	ろ	二
十	九	九	八	八	七	七	三	三	三	ほ	三
十一	十	十	九	九	八	八	四	四	四	に	四
十二	十一	十一	十	十	九	九	五	五	五	ほ	五

二間半

六間

四間半

入込

東一 東二 東三 東四 東五 東六
御棧敷 西一 西二 西三 西四 西五 西六 西七

間口寺間奥行二間

寺間、通路

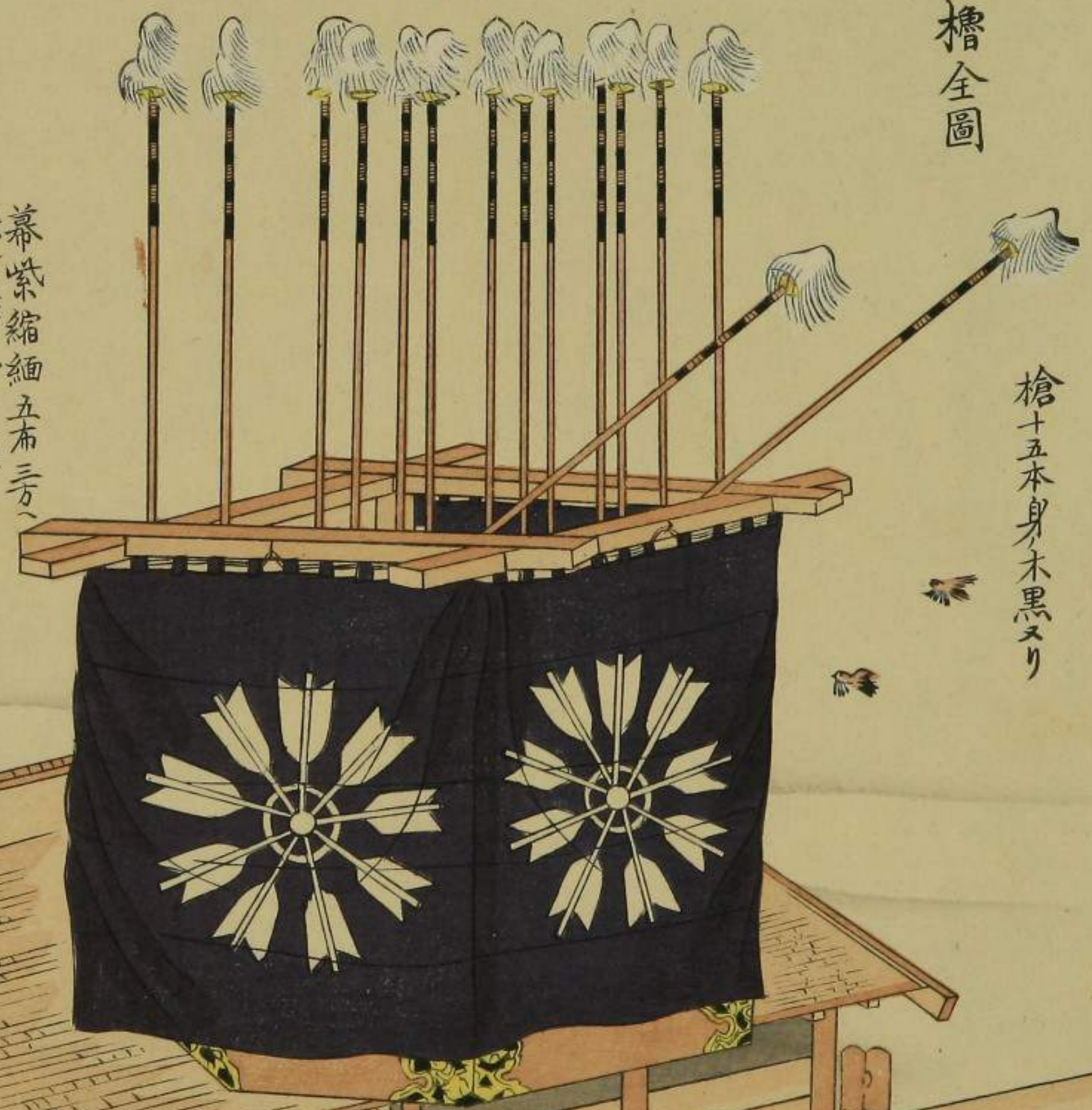
西廿三
西廿二
西廿一
西廿
西廿九
西廿八
西廿七
西廿六
西廿五
西廿四
西廿三
西廿二
西廿一
西廿
西十九

西十八
西十七
西十六
西十五
西十四
西十三
西十二
西十一
西十
西九
西八

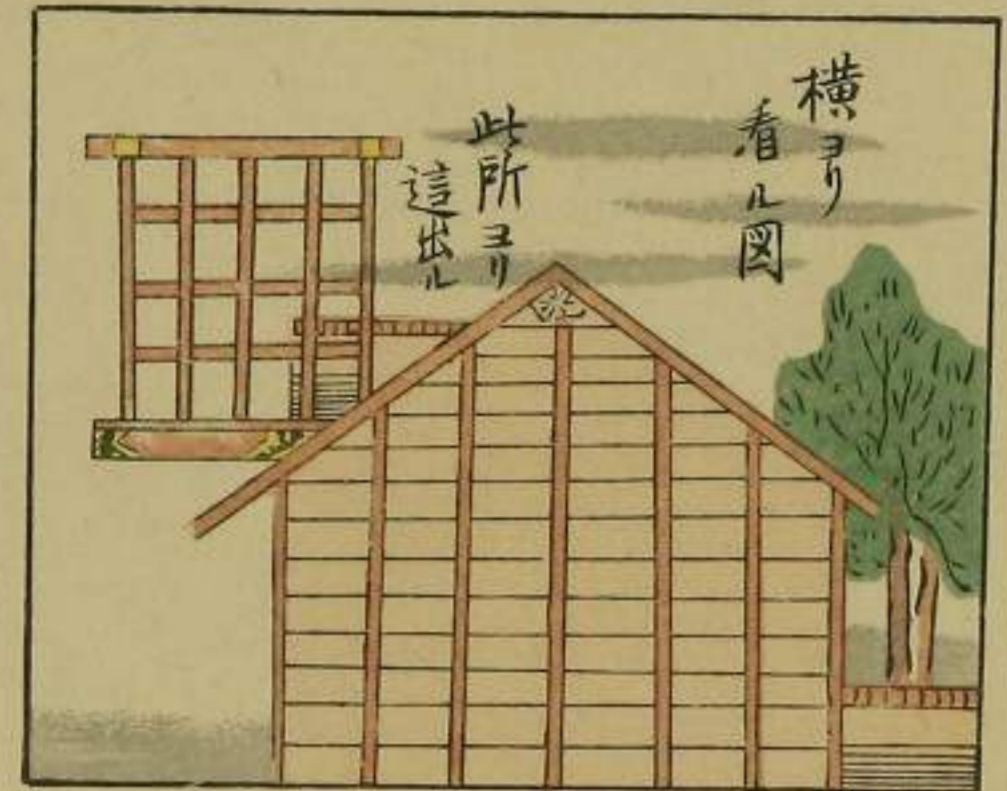
三十一十九八七六五四三二一九
 老間、通路

槽全圖

槍十五本身木黒ヌリ



幕紫縮緬五布三方、
 張ル紋所九ツ矢車
 興行、朝夕大鼓ヲナラス



横ヨリ
 看ル圖

此所ヨリ
 這出

入口左右ニアリ
 梯子ニ段アリ
 槽后、鳴子ヲ釣リ針金ヲ
 賄所入口ニ或テ能ク摩リテ
 報シ大鼓ヲ傳メ亦畢テ報シテ
 大鼓ヲ打タシム

間三



筋違橋門

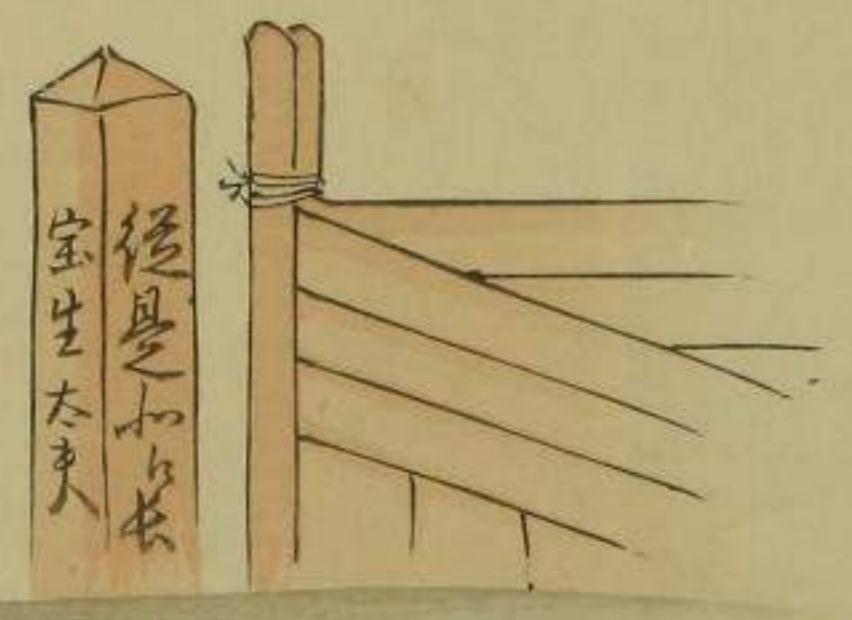


番組ヲ集ル



竹玉ヲ
勸進能ト書ス

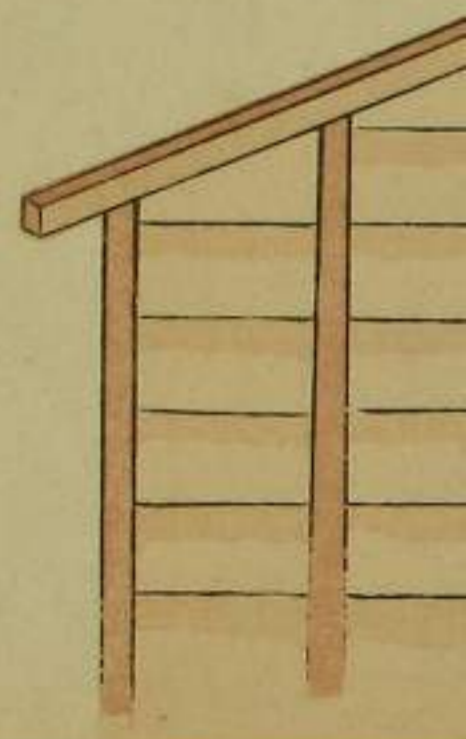
興行ノ前日太鼓ヲ
廻ス圖
五カフツ出ス
一隊六人ツ



徑是ノ下長
宝生太夫



大鼓ヲ打タシム





夜明
茶店



高砂屋寛延三年親世大夫此地ニ勸進能興行セシ時
肆ヲヒラキ蕃昌セシカハ其比迄ノ家名ヲ改メテ
カク号ケルヨシトシモマタ并當ラアキナセテ頗蕃昌
セリ



旅籠町
一丁目
宝生
宅

本御寺目
代地
町

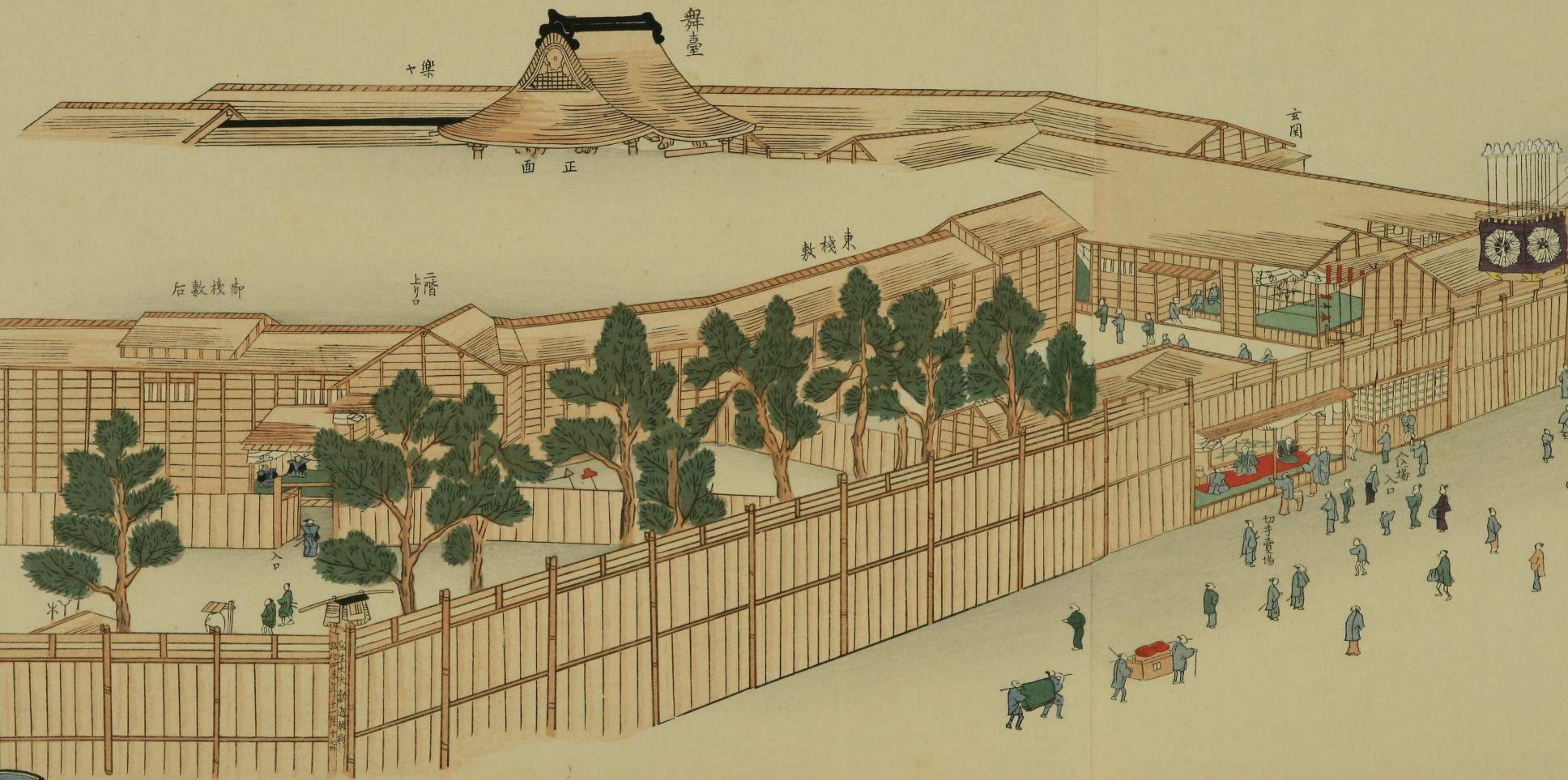
早且筋違橋ヨリ
望ムノ圖

神田
仲町
一丁目

高砂ヤ
弁當

町英

高砂屋寛延三年觀世大夫此地ニ勸進能興行セシ時
肆ヲヒラキ蕃昌セシカハ其比迄ノ京外名ヲ改メテ
カク号ケルヨシコトシモマタ弁當ヲアキナヒテ頗蕃昌
セリ



舞臺

十樂

正 面

玄關

東棧敷

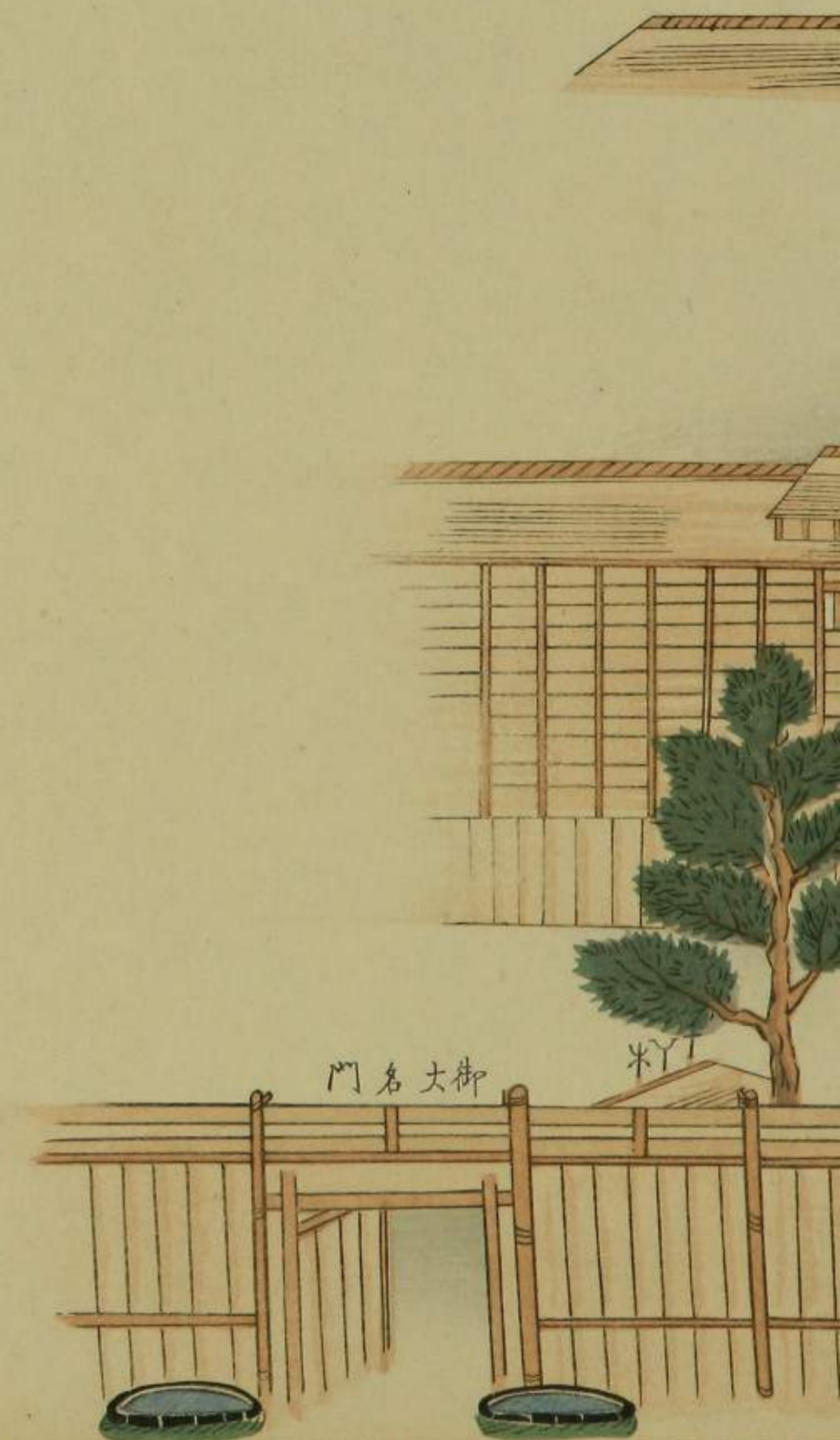
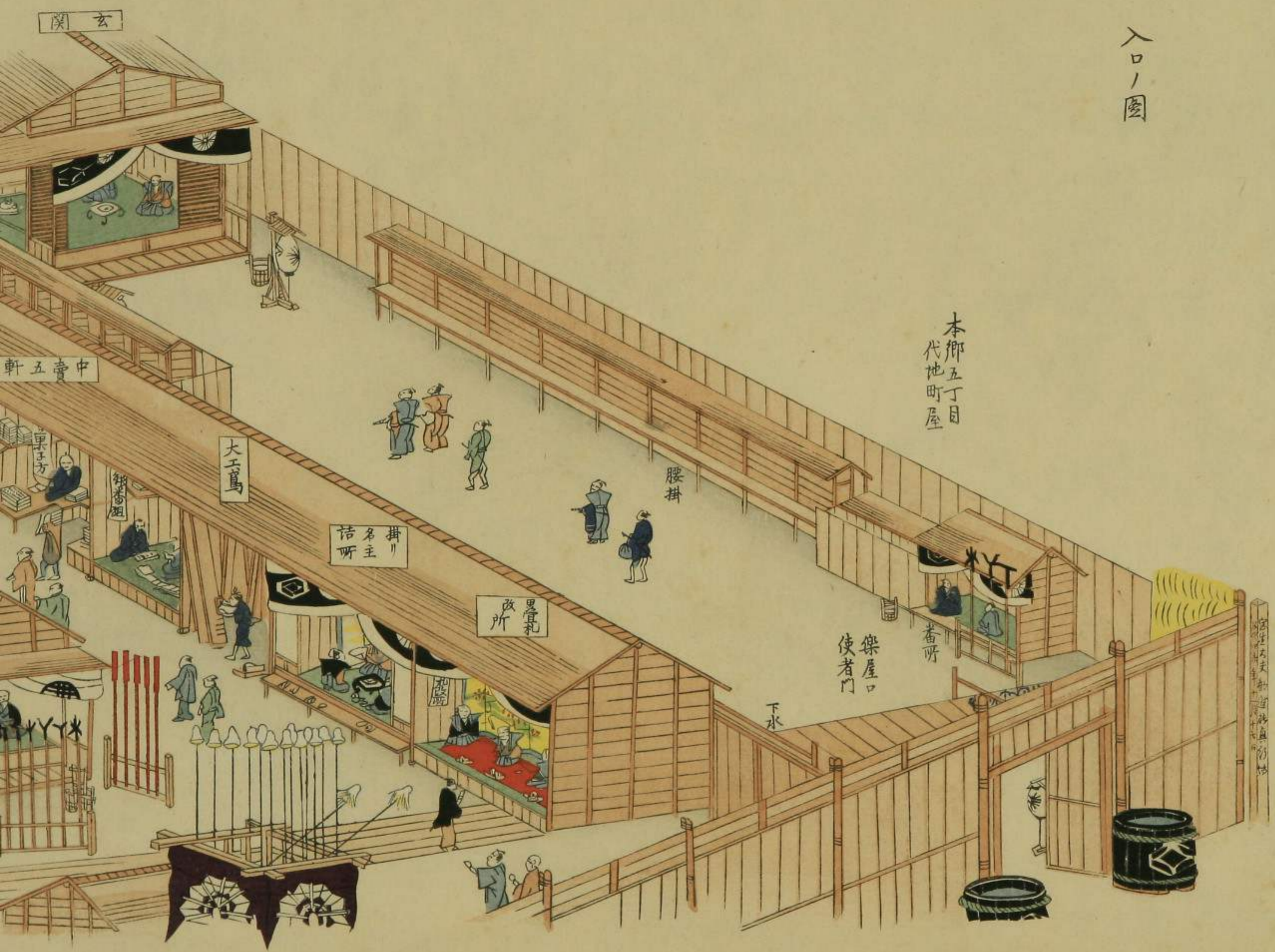
後敷棧御

上階

入口

切手賣場

入口ノ圖





玄關

使者間

賄所

西

是ヨリ
舞臺
ツミク

入上簀

東サキ留リ

中賣五軒

同心衆御見所

同心衆休息所

御供休息所

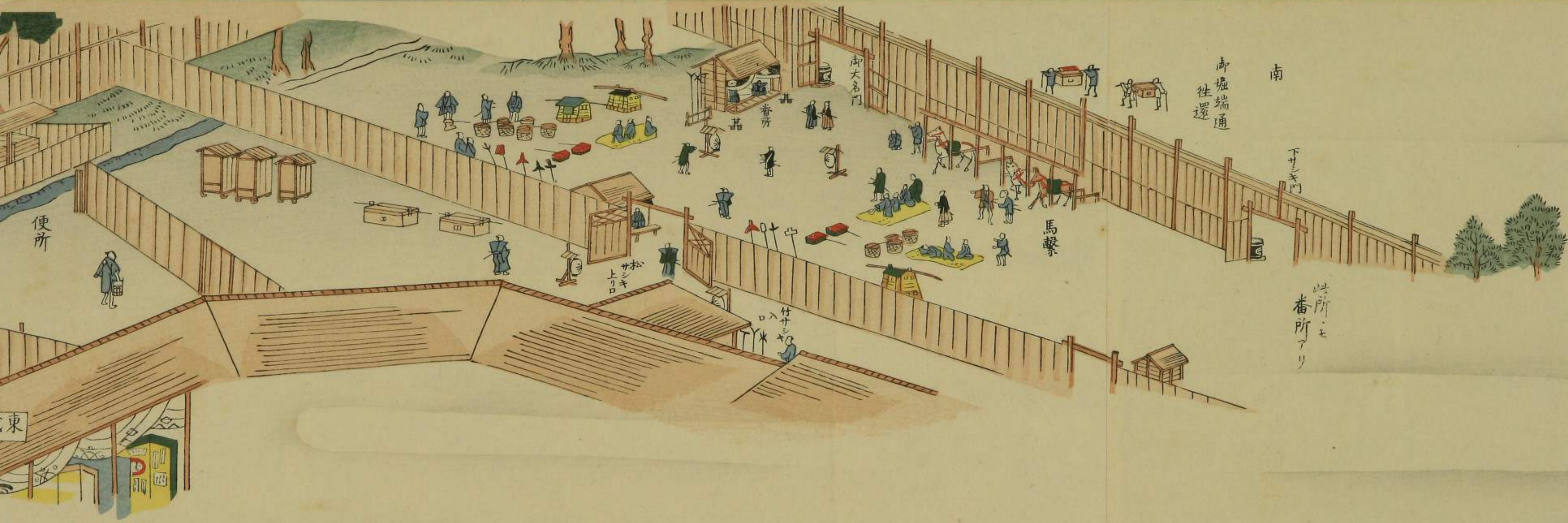
御出方御番所

御番所

大工所

中賣三軒

入札改所



便所

御大名門

高壩端通
往還

南

下サキ門

馬撃

サ松
上リ口

竹サキ
口

此所ニモ
番所アリ

東

此処ハ込場上
日西復葺筆頁
アリ
畧之

東

筋達御門通
往還

便所

敷棧東

便所

中賣軒

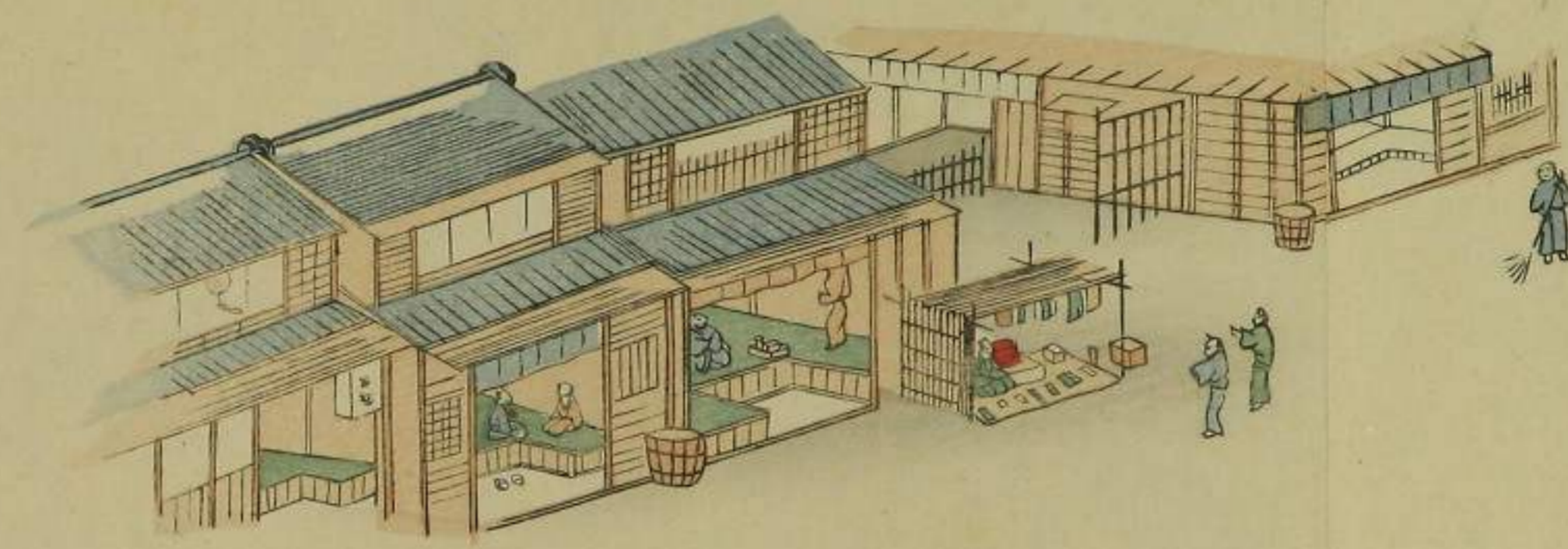
札賣場
後

札入
改所

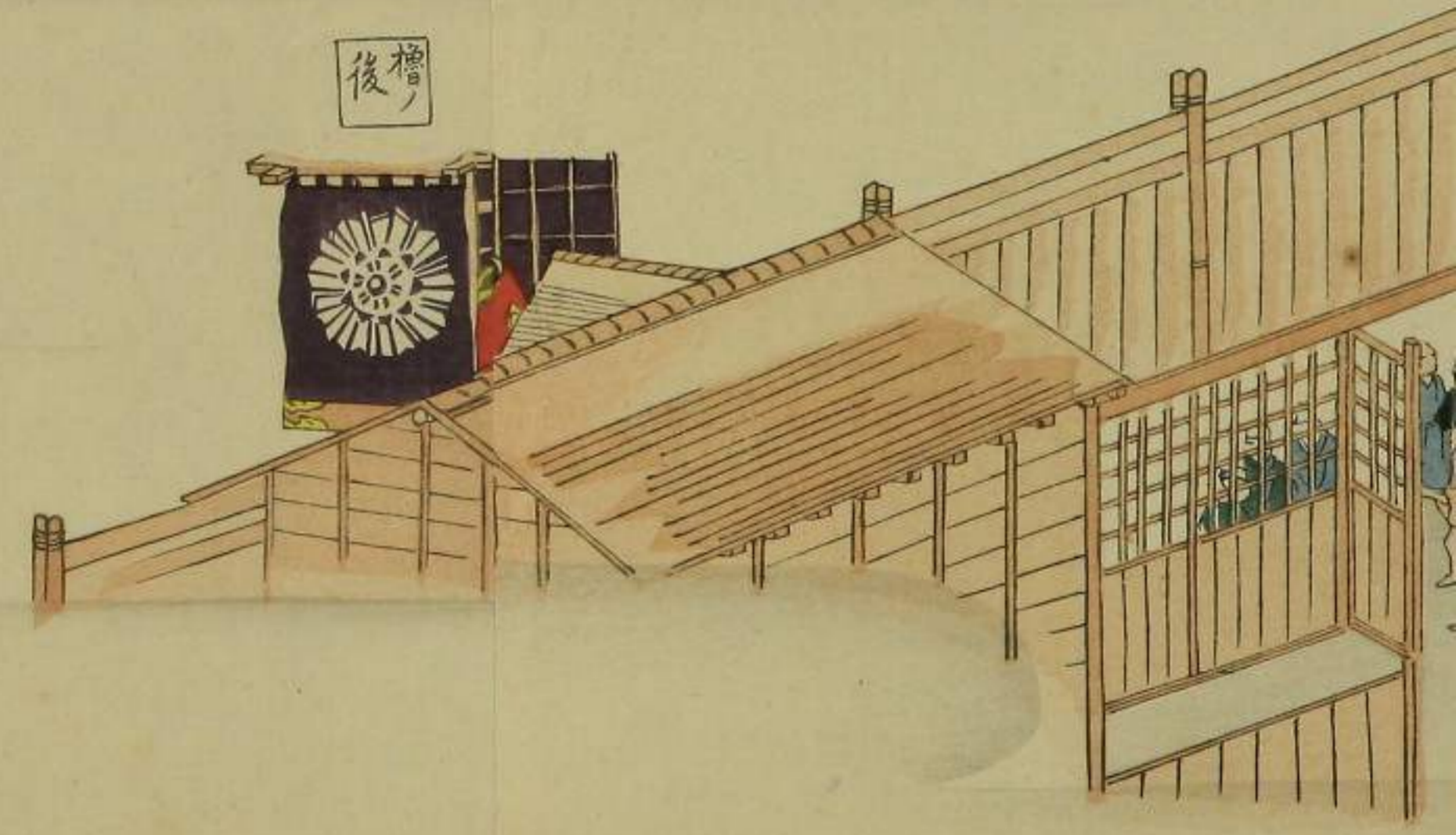
此内
アウリ



早朝
能場入口舞臺東面ヨリ



後槽

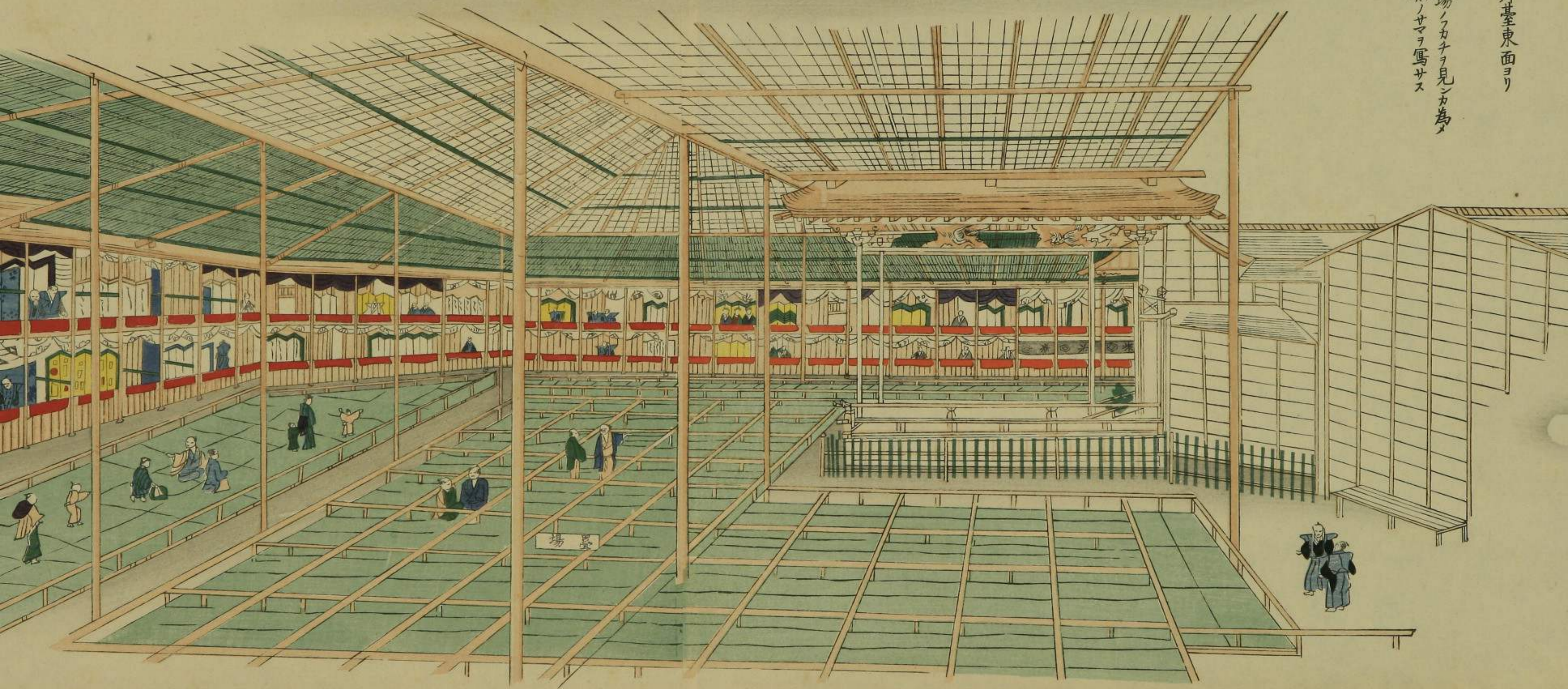


早朝
能場入口舞臺東面ヨリ
望ムノ図

畳場入込場ノカチヲ見シカ為メ
見物羣集ノサマヲ寫サス

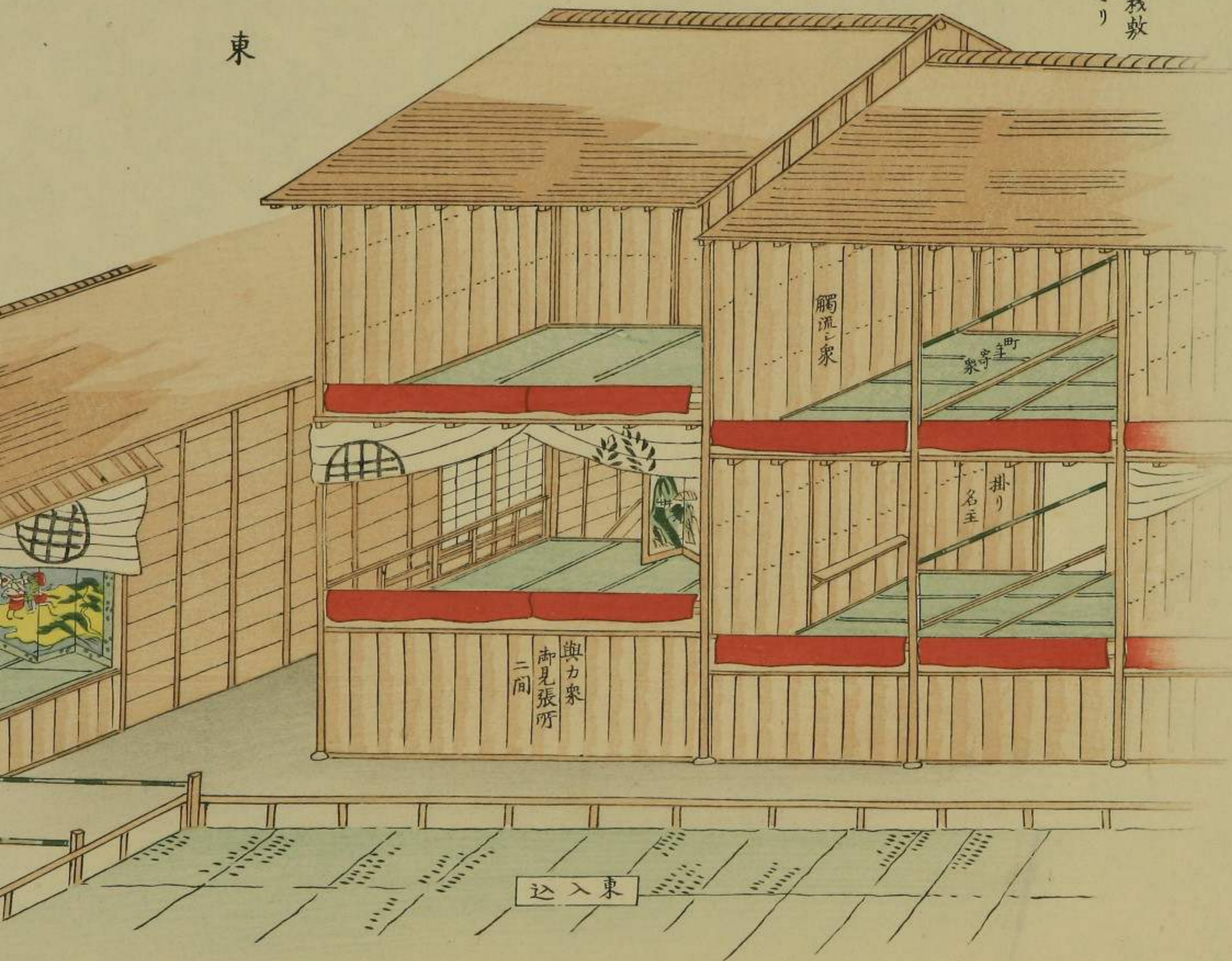
舞臺横面

畳場上
油障子
入込場
上
葎簀

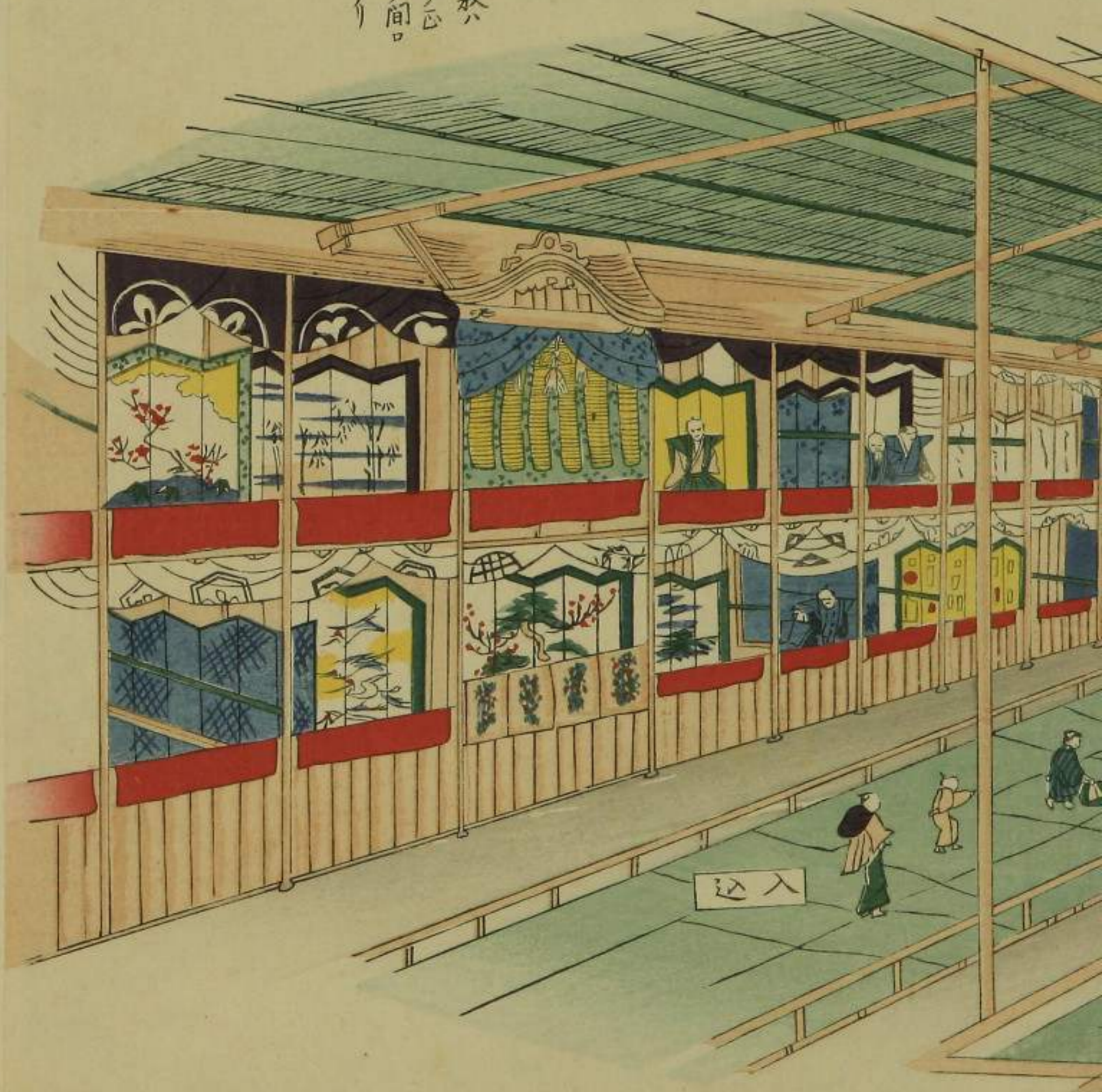


東

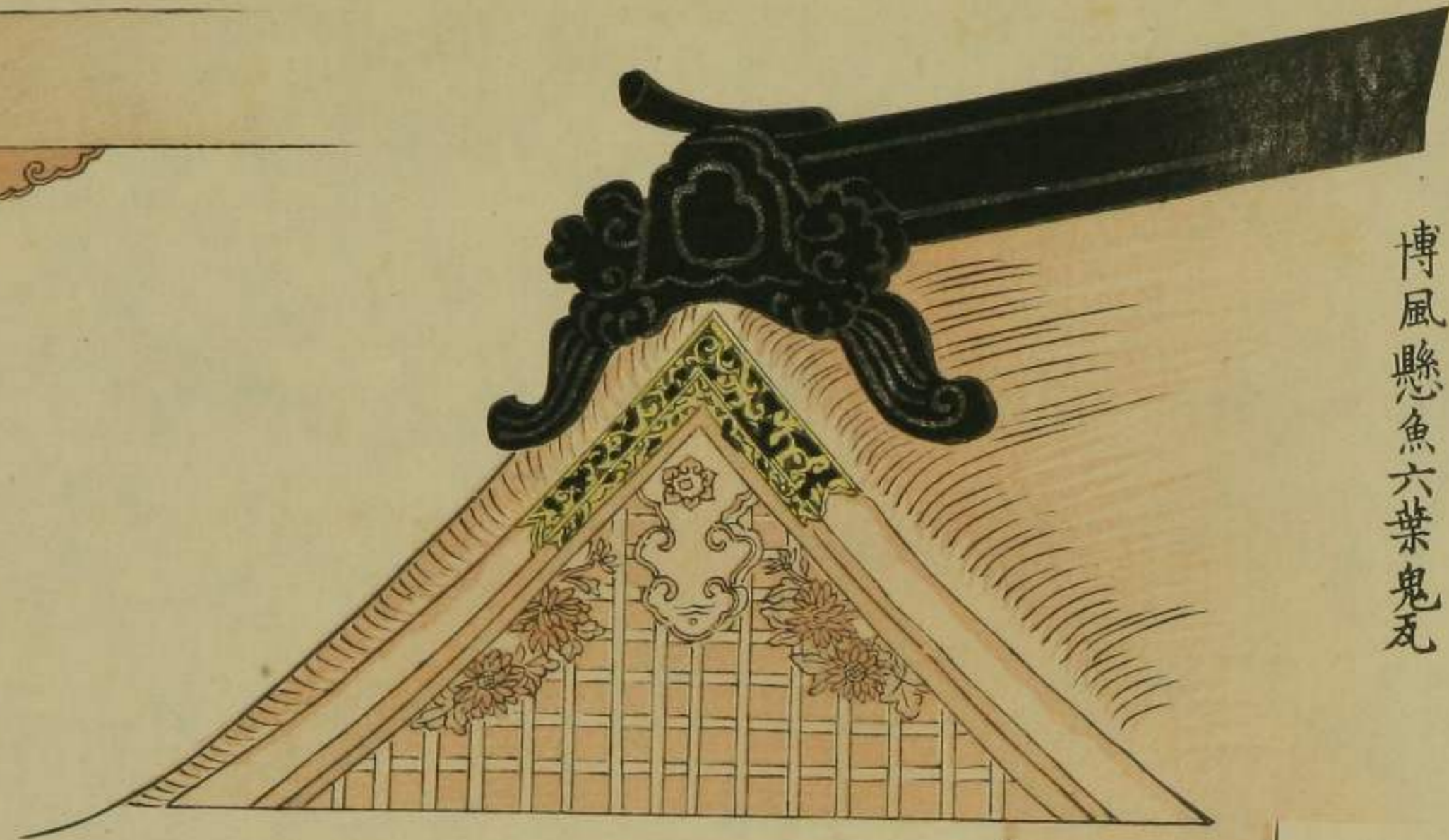
東
棧敷
トマリ



御棧敷
舞臺ノ心
面ニ向フ間
貳間アリ



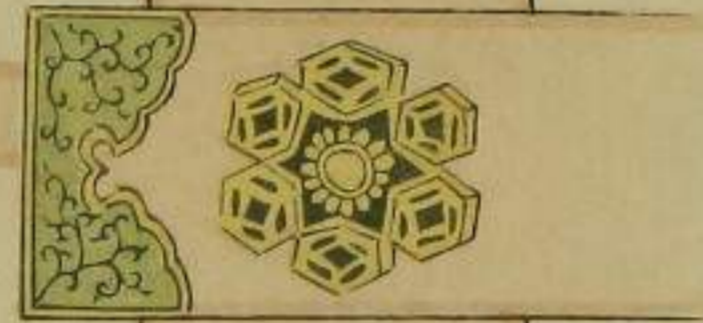
博風懸魚六葉鬼瓦



妻戸ハ白木画ナシ

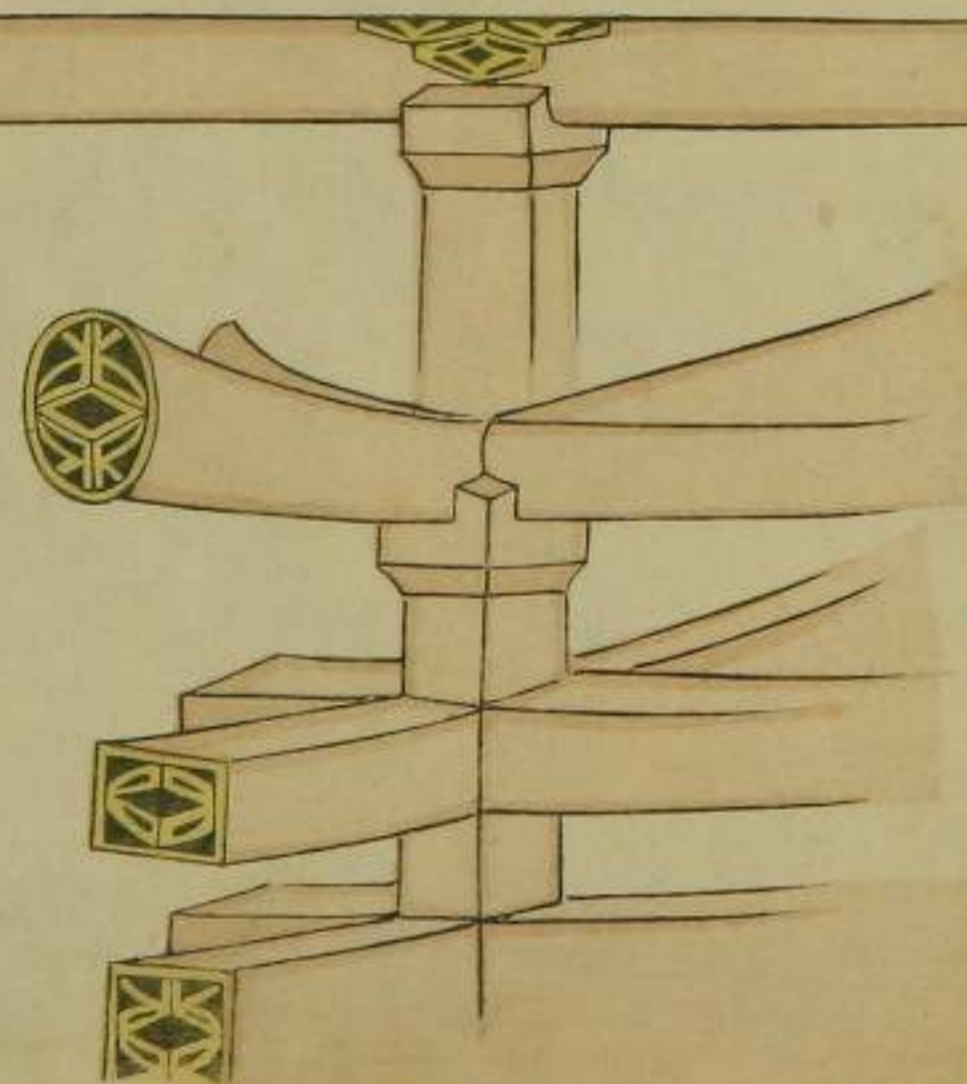
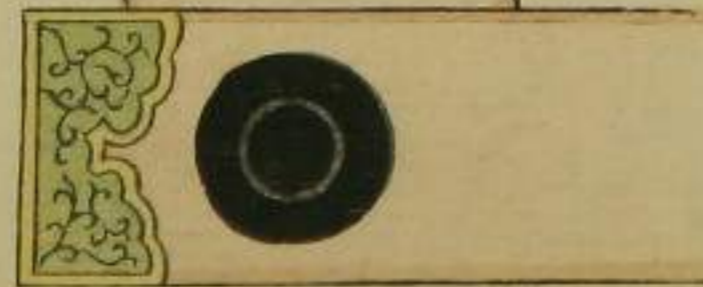
欄干
金物

釘隠シ金物



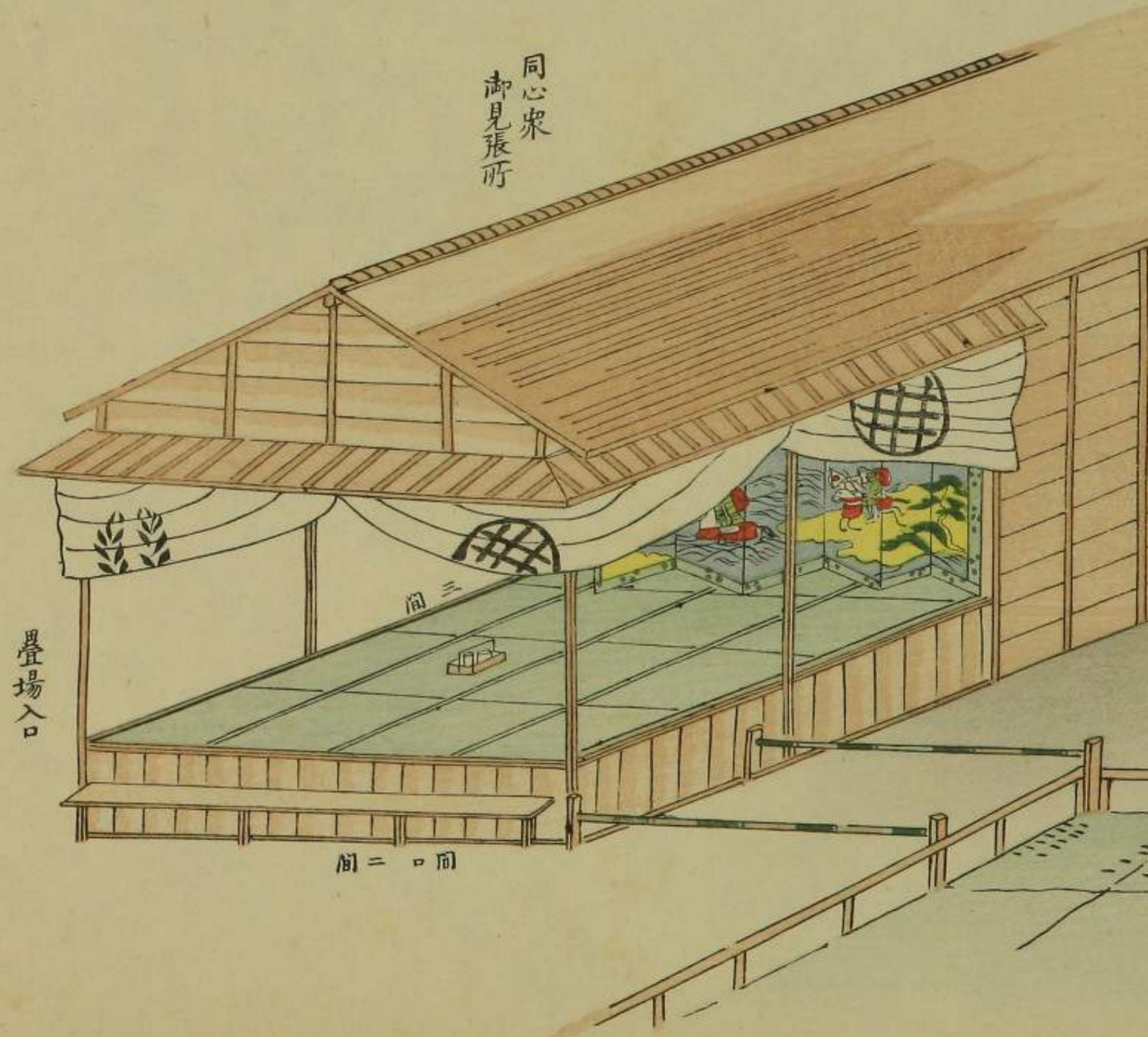
柱

土臺



鐵金竹押鐘ノ緒ヲ結付ル

同心衆
御見張所



畳場入口

間二口間

間三

中ノ虹梁ノ上大ナル墓股一ツ
 天井ナシ梁ノ真中ニ環ヲ
 打ッ
 松竹ノ園狩野永徳
 立信筆画上落款
 ナシ

梁虹

妻戸ハ白木画ナシ

高七尺程
 横三間



地謡出入口

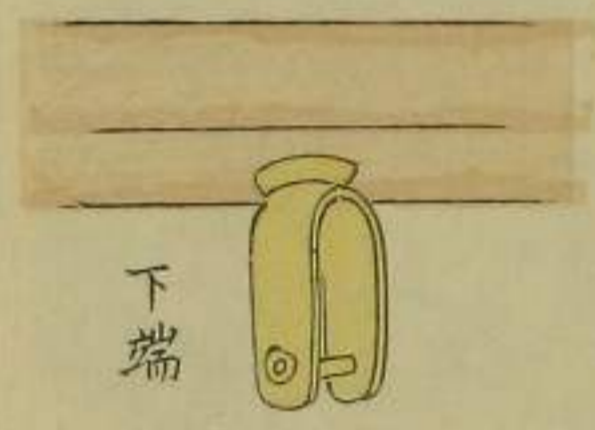
三尺引戸



鐵金箔押鐘ノ緒ヲ結付ル

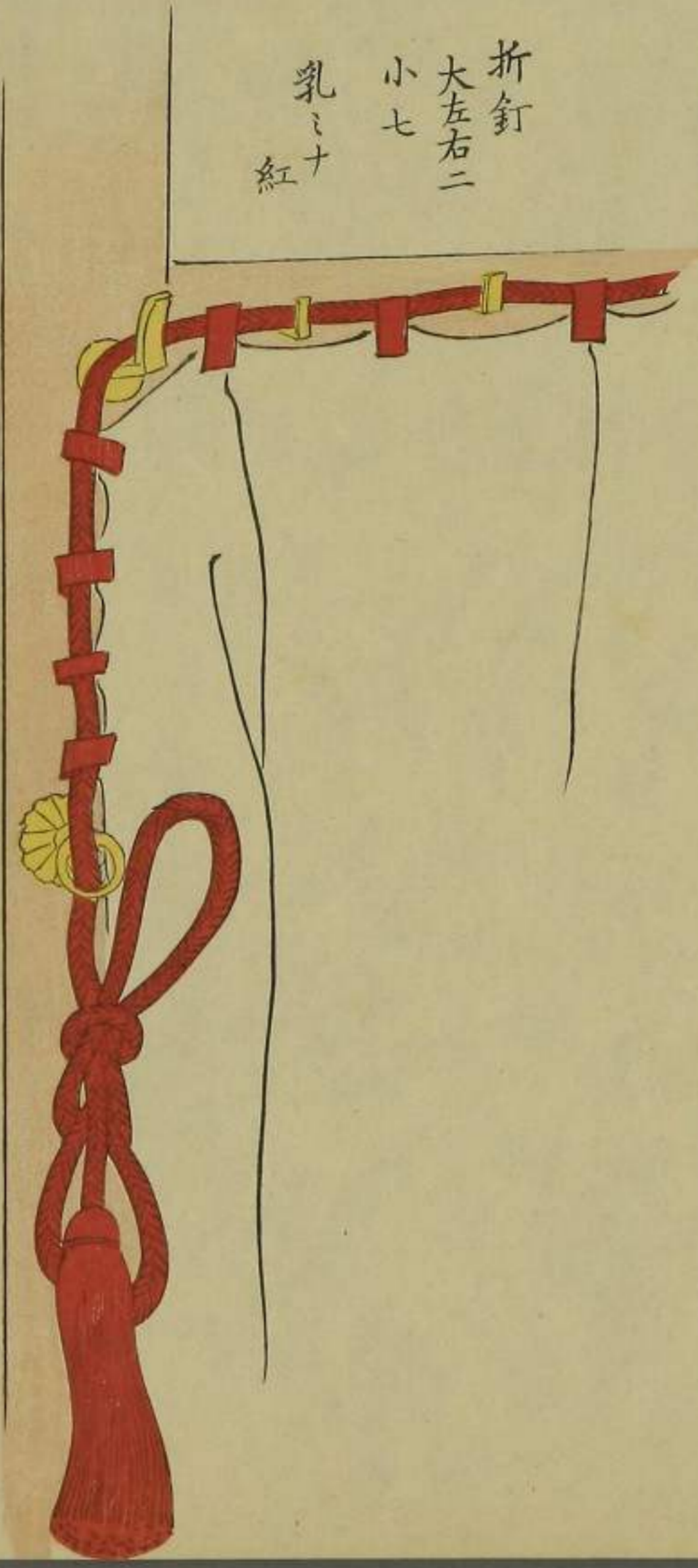
尺九

舞臺天井を虹梁彫モ前方裏ニアリ奥ノ方表ニアリ奥ノ虹梁上ニ墓股アリ
真中ノ梁奥ヨリ前へ四尺程ノ間ニ金モアリ鐘ノ造物ノ釣ルノ料ナリ



階掛り揚幕紐之圖

折釘
大左右二
小七
乳紅



金物真鍮

畳場入込場之圖



畳場

場込入



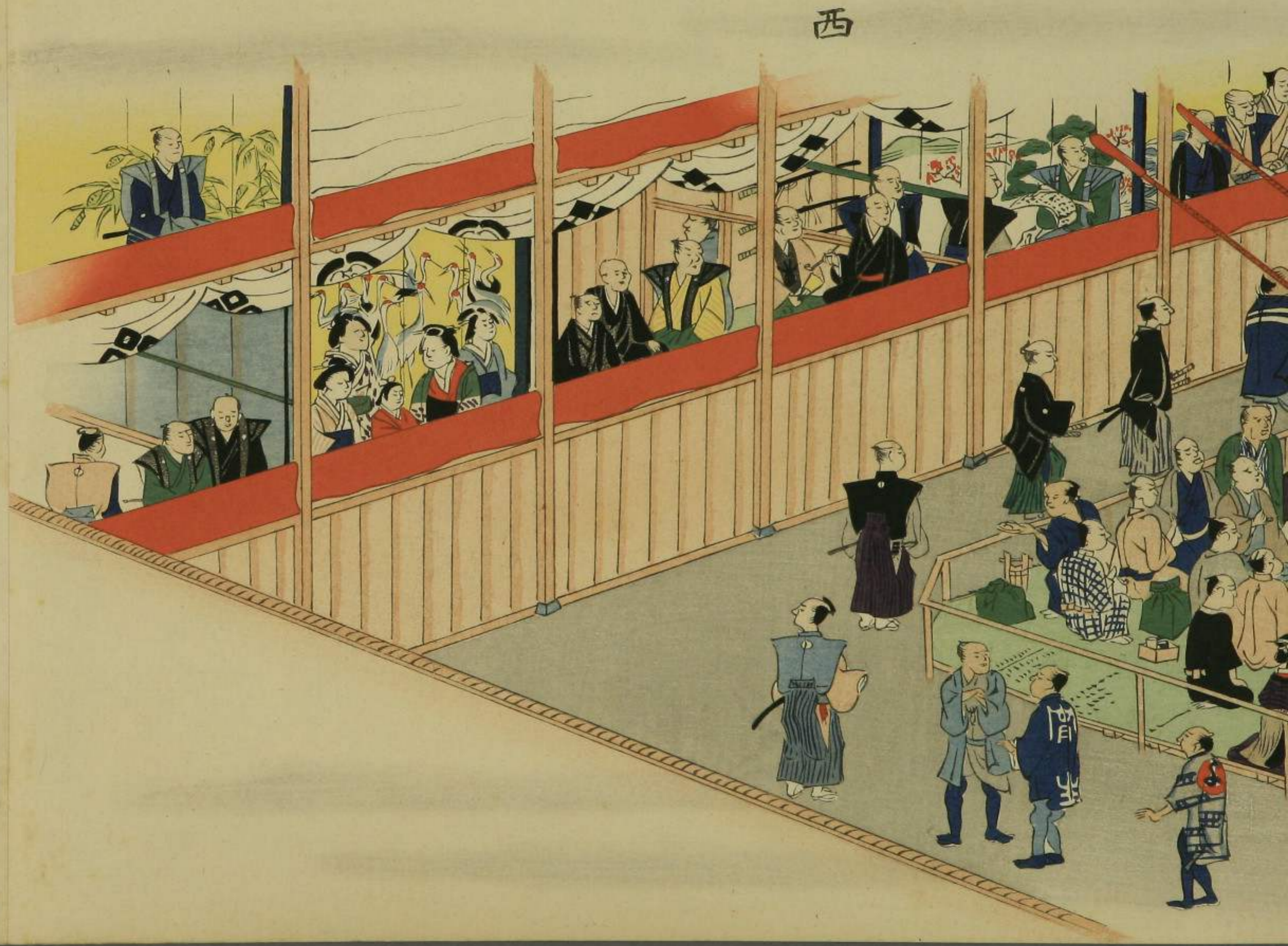
場



二重檼

舞臺之圖

南向午一分餘

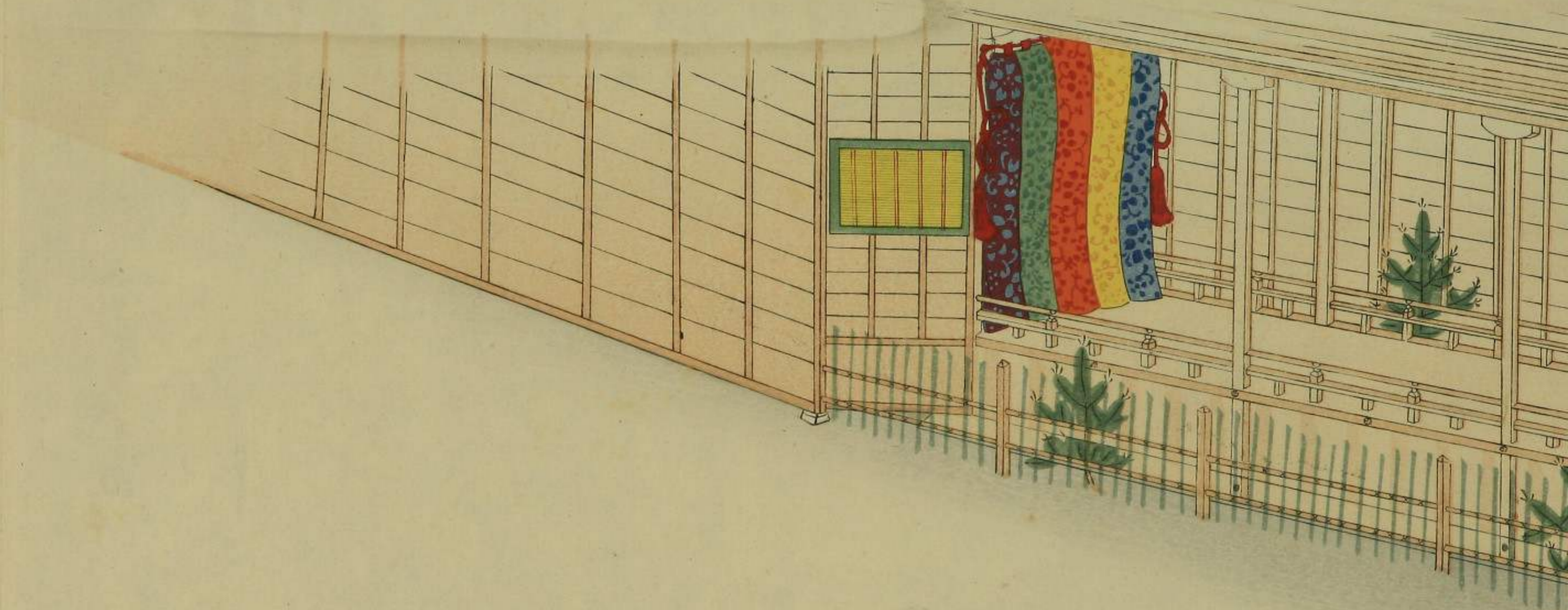
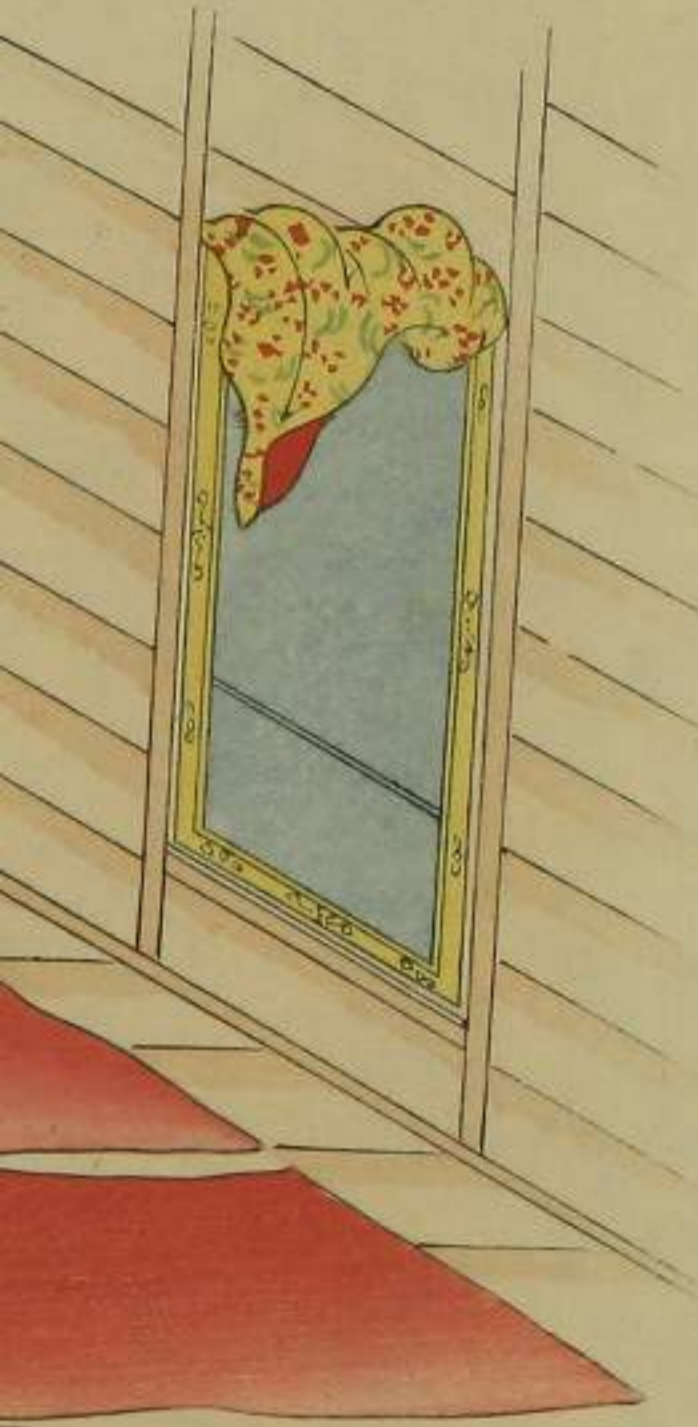


西



階掛リ拾間
柱間二間ツ

鏡之間
方鏡堅五尺巾
三尺各出トキ
此鏡ニ向フ





嘉永改之戊申の二月より摩訶笏遠橋の畠地より
 於て寶生大夫の散樂に勸進せし居興行あり晴
 天を擇み日數十日を期して江城の良統
 輻輳し一時の大觀なり昔貞享四年の七月
 本所におきて興行あり例と聞起今以て本
 願園を幕し他日話柄の一助とらん

戊申孟夏

高宗御宇

嘉永改之戊申の二月より摩訶庵遠橋の地より
於て寶生大夫の散樂に勸進之居興行あり晴
天を擇り日數十日を期とて江城の良候
輻輳し一時の大觀なり昔貞享四年の七月
本所におき興行あり例と聞せ今以てふ
願圖を奉りて他日話柄の一助とらん

戊申孟夏

高橋月峯幸生識

雙鳳和鳴繞玉臺風傳花氣五雲
開南山壽席繁蘭芷共酌千秋
長命杯